

肺がん検診を受ける方へ

◎胸部 X 線撮影

X線で肺全体を撮影します。

肺野部（末梢部）にできるがんの発見に適しています。

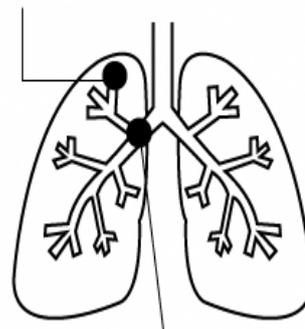
妊娠中または妊娠している可能性のある方は受診できません。

※肺がん検診で必ずがんを発見できるわけではありません。

がんがあっても異常なしと判定されること（偽陰性）や、

がんがなくても精密検査が必要となること（偽陽性）があります。

気管支の末梢にできるもの（肺野型）



太い気管支にできるもの（肺門型）

◎喀痰細胞診

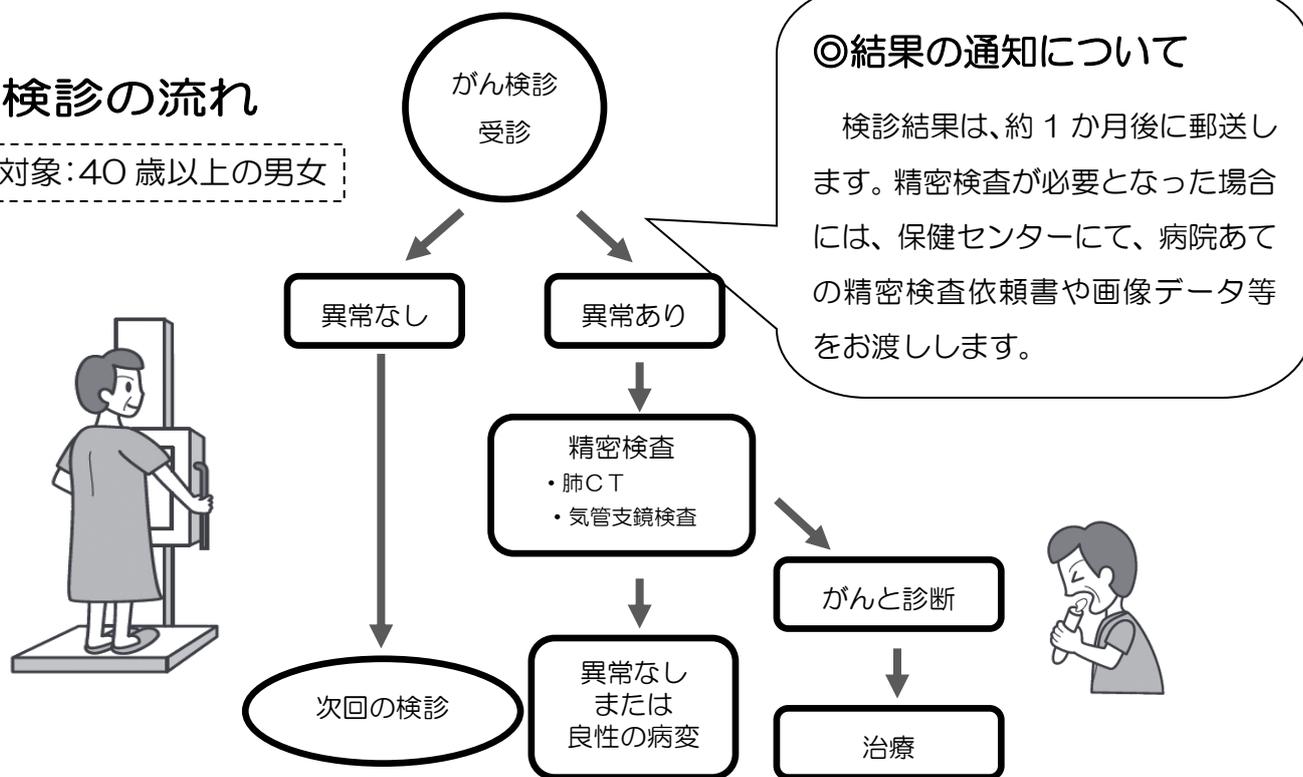
痰を採取し、がんの細胞が混じっていないかを顕微鏡で調べます。

X線撮影で見つけにくい肺門部（中心部）にできるがんの発見に適しています。

（必要と認められた方のみ実施）

◎検診の流れ

対象：40 歳以上の男女



◎結果の通知について

検診結果は、約 1 か月後に郵送します。精密検査が必要となった場合には、保健センターにて、病院あての精密検査依頼書や画像データ等をお渡しします。

◎精密検査について

肺がん検診の結果、精密検査が必要になった場合は、必ず CT 検査や気管支鏡検査による精密検査を受けてください。CT 検査は、エックス線を使って体を輪切りに撮影します。肺全体を連続的に撮影し、詳しく調べることができます。気管支鏡検査は内視鏡を口からまたは鼻から、気管や気管支の中に挿入し、組織や分泌物などを採取する検査です。なお、喀痰細胞診で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検査は行わず、すみやかに CT 検査等による詳しい検査を受ける必要があります。

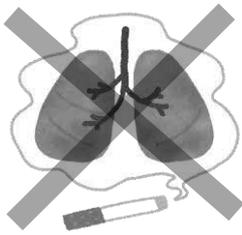
裏面もご覧ください

肺がんは日本人の死亡 1 位!!

日本人の肺がん死亡順位は、男性1位、女性2位で、40代後半から増加します。初期には自覚症状がほとんどなく、進行しても風邪と似た症状のため、見逃されがちです。

また、治りにくいがんと言われていましたが、近年は検査の精度が向上し、早期に発見され、肺がんで死亡する人は少なくなっています。

禁煙が高める肺がん予防効果



喫煙は多くのがんを誘発していますが、なかでも肺がんとの密接な関係が明らかになっています。

しかし、禁煙すると5年で肺がんにかかるリスクが半分になるとされており、肺がんになる確率を劇的に低下させます。

禁煙は、一朝一夕に成功できるものではありませんが、健康のためにぜひチャレンジしてください。

検診結果の取扱いについて

効果的で精度の高い検診を実施するためには、みなさまの検診結果を正確に把握する必要があり、ご本人や精密検査医療機関に検診結果の追跡調査を行う場合があります。検診結果は市で集計した後、国に報告し、有効性の評価などに用いられます。

また、一次検診および精密検査に関する個人情報については、市民の健康向上を目的に、一次検診実施機関、精密検査実施機関と共有し、事後指導、受診勧奨などに使用することがあります。その際には、個人情報保護法等を遵守し、適正・厳格な取り扱いを行います。

1年に1回、検診を受けましょう！

肺がん検診の受診間隔は1年度に1回です。タバコを吸う人も、吸わない人も検診は必要です。毎年定期的に検診を受けましょう。ただし、痰に血が混じるなどの自覚症状があるときは、すぐに専門医を受診しましょう。

四條畷市立保健センター (☎) 072-877-1231